



冬号

生じては滅びる
それらの静まることが安樂である

「いろはにほへと ちりぬるを わかよたれそ

つねならむ うゐのおくやま けふこえて あさき

ゆめみし めひもせず」

かな四十七文字を全部使った「いろは歌」。作者は

今も不明、最近の研究から、平安時代の仏教徒がつく

ったという説が有力であるようです。

人生の儚さ、ものの儚れを喩えた、この世の『無

常観』に彩られた歌でもあります。

いろは歌にまつわるお話があります。雪山童子がヒ

マラヤで修行中に「諸行無常 是生滅法」という歌

を耳にしました。「これこそ真理だ」と続きを聞こう

としましたが、後半は聞こえてきません。どうしても

知りたいと思つてあたりを見回すと、羅刹（悪鬼）が

いるばかり。恐るおそる「残りも何とか教えて下さい」

と懇願しました。羅刹は「人間の血をくれるなら教え

てやろう」。雪山童子は真理の教えには代えられない、

とわが身を捧げることを約束しました。

後半の「生滅滅為 寂滅為樂」を聞き、「雪山偈」

のすべての教えを知ることができました。

「教えとは、もろもろのつくられたものは無常であ

る、生じては滅びる性質のものであり、生じては滅び

る、それらの静まることが安樂である」と。これを聞

いた後、雪山童子は羅刹にその身を捧げました。

お話の中の「雪山偈」は、「いろは歌」の教えを喩

えたお話です。私たちはどうすれば心の安らぎが得ら

れるのでしょうか。乗り越えることは難しい、でも現

実はそれ乗り越えて生きるしか方法がありません。

いろは歌の「うゐのおくやま けふこえて」は、仏

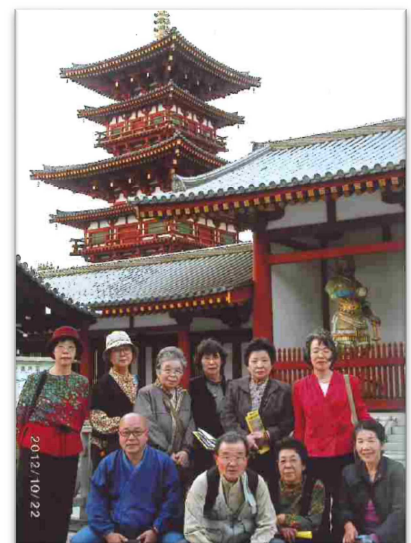
教観を通し、このことを教えてくれているのです。

三明寺住職 大嶽正泰 合掌

住職著書「和尚のちよつといい話」より



12月9日 曹洞宗六教区寺院歳末助け合い托鉢



10月22日 奈良薬師寺にて写経奉納

【檀信徒行事予定】

十二月

○見原家御法事	8日
○中西家御法事	9日
○杉山家御法事	10日
○伊藤家御法事	14日
○村上家御法事	15日
○秋山家御法事	16日
○瀧口家御法事	18日
○仁昌寺家御法事	20日
○小瀬家御法事	23日
○鈴木家御法事	24日
○地蔵講	31日
○末藤家御法事	31日
○鎌田家御法事	31日
○斎藤家御法事	31日
○もちつき・大掃除	31日
○大晦日・鐘つき	31日
○年頭挨拶回り	4日
○澤田家御法事	6日
○道了講・はしごのり	7日
○林家御法事	9日
○青島家御法事	13日
○石原家御法事	16日
○地蔵講	16日
○本間家御法事	19日
○川名家御法事	25日
○須田家御法事	27日
○三門大般若節分会	27日
○松永家御法事	2日
○渡邊家御法事	3日



【住職・寺族行持】

十二月

○梅花検定会（定輪寺）	6日
○六教区歳末托鉢（沼津駅南口）	9日
○保護司会	14日
○藤泉院御法事	22日
○沼津市仏教会托鉢（沼津駅南口）	22日
○ライオンズ献血（愛鷹広域公園）	22日
○玄清寺御法事	19日
○宗清寺御法事	20日
○東部教連	31日

【三明寺文化倶楽部行事予定】

○土曜日坐禅と写経	6時
○日曜日坐禅と提唱	6時
○月例坐禅会	8日
○月例写経会	7時30分
○御詠歌（寺族）	9時30分

【お知らせ】

□ローソクによる万灯供養のすすめ

施食会や年末正月行事に万灯供養をはじめてみました。門池に沢山の明かりが照らされる姿はとても素晴らしい光景です。イルミネーションが流行っていますが、ローソクもいいものです。

□ペットの時代

ペットの飼育、告別、茶毘火葬、供養塔への納骨の一連の流れの中で、ペットに癒しとやすらぎを求める人が多いことがここ数年で特に感じられます。ペットの飼育は今後なお一層多くなると考えられ少なくなはないと思います。

□永代供養の時代

少子高齢化の時代に入り、墓地をもとめても子供がいらない、お墓が管理できないなどの問題が現実化しています。この傾向は更に拍車をかけるでしょう。

一時的に墓地を求めることはあっても将来的に永代供養に納まる時代になると考えられます。

□写経会教室に参加してみませんか

写経会は月一回開催 最終の月曜日の予定です 先生は山本芙美子先生です。参加料は千円

□梅花流御詠歌へのおすすめ

寺族指導による詠賛歌を唱えるお仲間を募集しています。

【編集後記】

今年の冬はいつもの冬より寒くかんじるのは私だけでしょうか。暑い時は暑く、寒い時は寒く、寒暖の差が激しくなったような気がします。地球も余裕が無くなったのでしょうか。それとも私の年令のせいでしょうか。（O・S）

平成二十四年十二月一日 第45号
 発行所 曹洞宗大嶽山三明寺
 編集所 大嶽山三明寺
 住所 沼津市大岡三明寺四〇五一
 電話 055・929・2323
 FAX 055・929・2324
 Eメール http://www.sanmyouji.com
 info@sanmyouji.com



11/5～7 檀信徒本山研修

永平寺参籠

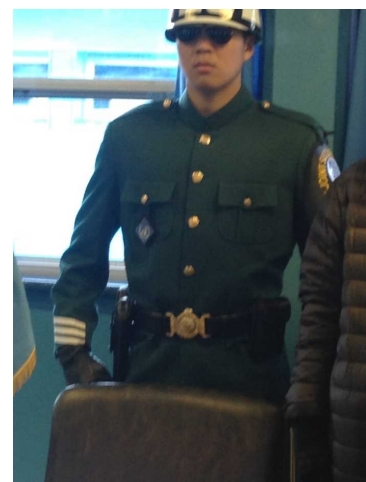
三明寺総代が750人を代表して
絡子を授与されました



掲示された全壊した寺院の写真



六教区研修旅行会 宮城・福島の被災地にて



韓国板門店（北朝鮮との国境）

微動だにしない憲兵が印象的でした

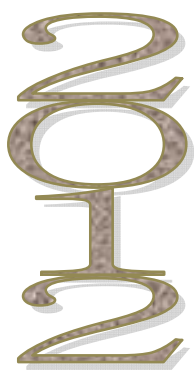
8月19日
地藏盆祭典 施食会



夏はパエリア 節分会ではじょう汁 乞うご期待！



三明御輿は 「どっこいどっこい！」



特賞おめでとう



夜の抽選会は祭りの楽しみのひとつですネ



9月22日 秋彼岸会 法要の後ハンドベルとオルゴールの音色を堪能しました



10月12日 島根から来られた師範による梅花特派講習会 六教区の講員さんが集まりお勉強しました
梅花流詠讃歌はお釈迦さま祖師さまをお讃えし、ご先祖様を敬う仏讃歌です
正座の心配はありません 男性もいらっしゃいます 一緒に歌いませんか